

「NTT コミュニケーションズ Office 365」における 契約期間の考え方について

ご提供するライセンスに関する価格適用のルール（考え方）になります。

■ 価格適用のルール

4つのタイミングにて、Office 365 の適用価格をご確認いただく必要があります。

- ・ 新規契約：契約時点の標準価格を適用します。
- ・ 別サブスクリプション（別プラン）追加：サブスクリプションごとに契約期間が設定されます。
- ・ ID 追加：サブスクリプション期間内の ID 追加による価格変更はありません。
- ・ 更新契約：契約更新時点の標準価格を適用します。

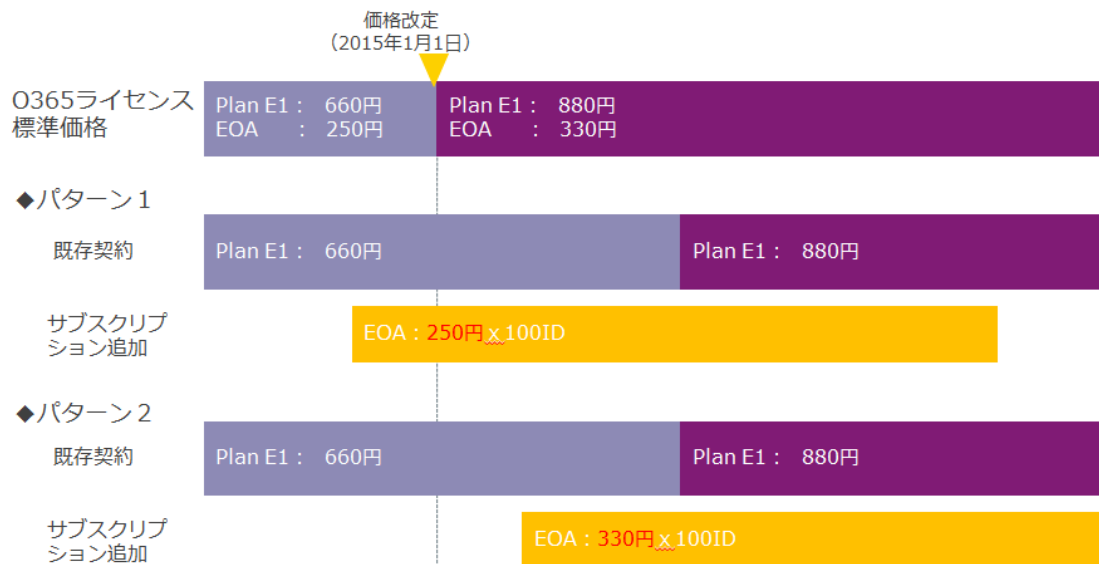
※プランごとに全て契約期間は1年です。

■ 新規契約

新規にご契約した時点の標準価格が適用されます。Office 365 は、違約金なしで解約することが可能ですが、一度購入したサブスクリプションは1年間有効となります。

■ 別サブスクリプション（別プラン）追加

ひとつの契約（テナント）に複数のプラン（サブスクリプション）がある場合の考え方については、以下の通りです。



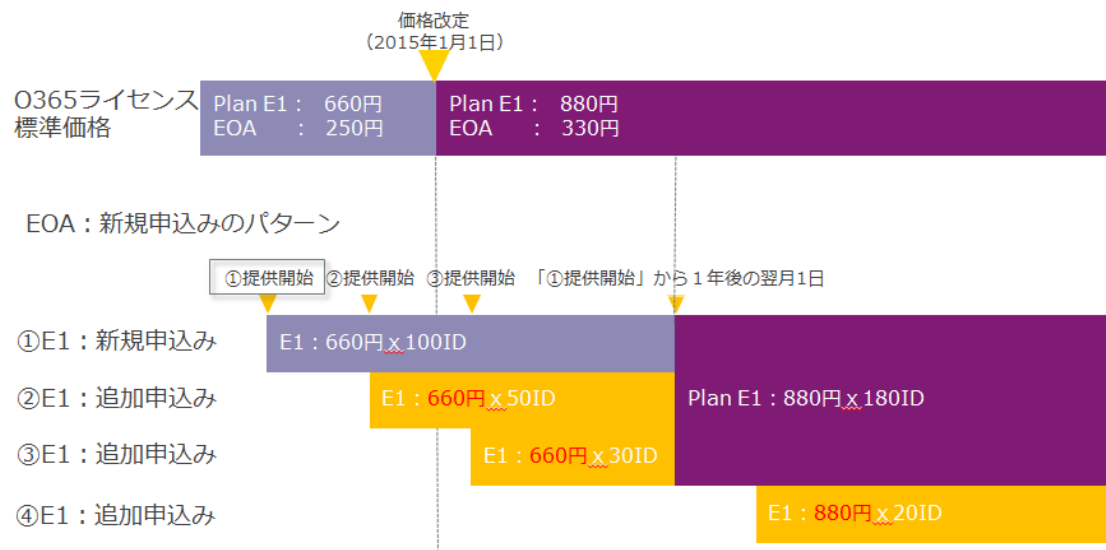
パターン1では、Office 365 標準価格が改定される以前でサブスクリプションが追加されていますので、価格改定される前の標準価格が1年間適用されます。

パターン2では、Office 365 標準価格が改定された2015年1月1日以降にサブスクリプションが追加されていますので、改定後の価格が1年間適用されます。

両パターンとも既存契約のサブスクリプションは1年間有効で、1年後は自動更新されます。自動更新は、その時点（契約更新タイミング）の標準価格が適用されます。

■ Office 365 の ID 追加

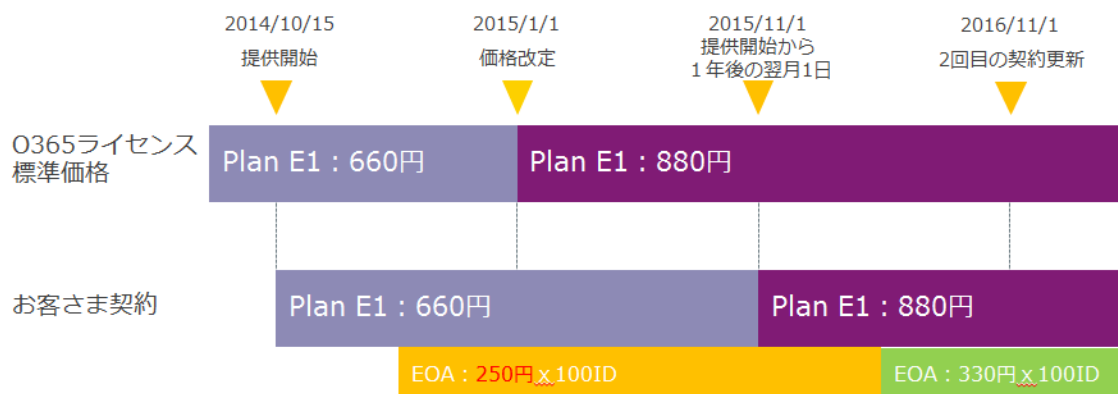
ひとつの契約（テナント）に複数のプラン（サブスクリプション）がある場合の考え方については、以下の通りです。



Office 365 は、違約金なしで解約することが可能ですが、一度購入したサブスクリプションは1年間有効となります。①の時点で Office 365 Enterprise E1（以下、E1）を 100ID 分購入します。この時点が E1 のサブスクリプション契約の起点になります。ここから1年間は ID を追加しても同一価格が適用されます。②、③の時点で ID を追加しても①の時点の価格が適用されます。ただし、④の時点では、①より1年が経過し、その時点で標準価格（新価格）が変更されております。その際は新価格での ID 追加となります。

■ Office 365 の契約更新

提供価格と契約期間の考え方については、以下の通りです。



サブスクリプションが有効な1年の間に価格改定があっても、そのサブスクリプション期間が終了するまでは、価格は契約時のままです。
サブスクリプション有効期間が終了し、解約を行っていない場合、契約は更新され、特に操作や申請をしなくても新価格が適用されます。